

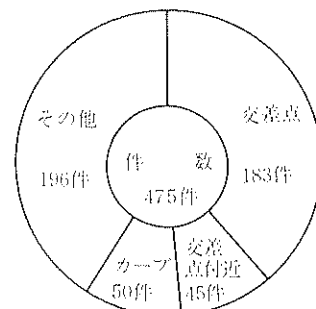


夏休み ルール無視

さい。
昭和六十一年は、四百七十五件の交通事故が起き、九人がけがをし、五百五十九人がけがをしました。交差点における事故が最も多く、百八十三件、全体の三八・五割を占めています。原因別に見ると車両では前方不注意などの安全義務違反が最も多く、車両による事故の四四・四割、特に自転車の場合は交差点の安全不確認が自転車の事故の四三・二割を占めています。

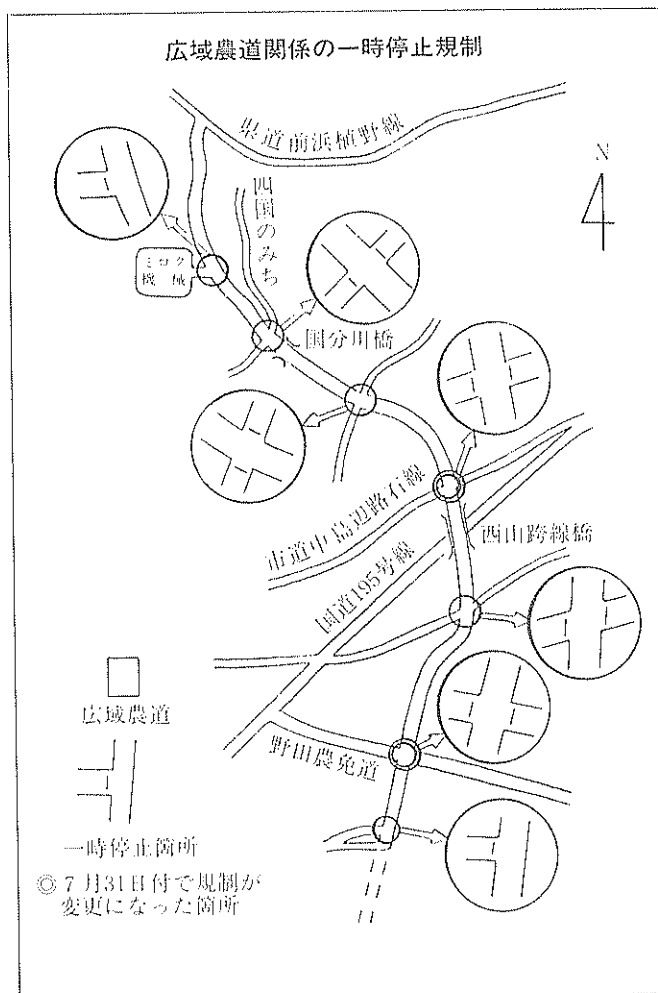
す。歩行者の事故原因はその五六割が飛び出します。
以上のようによくの事故は一人一人が十分注意をすれば防ぐことができるのではないのでしょうか。事故を起こしてから「しまった」と言わないように。安全はあなた自身が作り出すべきものです。

場所別事故発生件数
(南国市管内)



車両事故原因別発生状況 (南国市管内)

原因	件数	割合(%)
安全運転義務違反	200	44.4
交差点安全進行等	51	11.3
横断等不適	43	9.6
左右折違反	40	8.9
その他	116	25.8
合計	450	100.0



重大事故が多発 がひきがねに



乗用車が国分川に転落、運転していた人はシートベルトのおかげで無傷

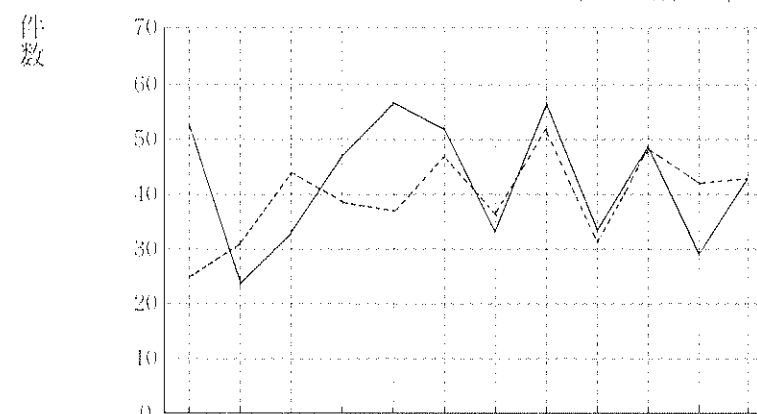
七月二十三日夜、大坪の県道でオートバイに乗っていた高校生が道路わきの看板と自動販売機に衝突、死亡。ヘルメットをかぶっていた命は助かったとみられています。二十四夕方、上野田の市道で軽四輪ライトバンに横から来た乗用車が衝突。ライトバンに乗っていた親子三人が死亡。これは乗用車の運転手が一時停止を怠り、かなりのスピードで交差点に突っ込んだことが原因です。

いずれの事故もルールを守ってさえいれば、このような悲惨な結果にはならなかったのではないかと悔やまれます。

安全はあなた自身が作るもの

夏はレジャーに最適な季節。海へ山へと足を伸ばすことが多くなります。しかし、毎年この時期、特に八月は、レジャーに伴う交通量の増加や夏休みの解放感、暑さのための疲労から交通事故が多発します。特に若年ドライバー（十八〜二十四歳）のルール無視が目立ちます。今一度交通安全について考えて、事故を起こさないように注意しましょう。

月別交通事故発生件数 (南国市管内)
—昭和60年—昭和61年



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和60年	53	23	33	47	57	52	33	57	32	48	29	43
昭和61年	25	31	44	39	37	47	35	53	31	48	42	43

は数えきれないくらいあります。もちろん、故意にルール違反をするのは一部の不心得者。しかし、運転中にふと回りの景色に気がとられたり、音楽や同乗者との話に熱中したりすることはだれにでもあります。また、化粧をしたり、ヒゲをそったり、缶ジュースを飲んだりしながら運転しているドラ

イバー、よく見かけますね。自動車学校の生徒がそんなことをしたらどうなるでしょう。恐らく教官からこつてり油をしぼられるはず。初めてハンドルを握ったとき、初めて道路を走ったときのことをもう一度思い出し、初心に帰って気を引き締めて「上手な運転より正しい運転」を心がけてくだ